

「タイムフィード時刻監査サービス」における監査証および監査レポートの記載誤りについて

この度、弊社タイムフィード時刻監査サービスにて、過去に発行した「監査証」および「監査レポート」の一部の数値に記載誤りがあったことが判明しました。

なお、監査結果自体には誤りがないことを確認しており、また影響のあったお客様には誤りを修正した監査証及び監査レポートを既に再発行させていただいております。

弊社不具合によりお客様に大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

1. 対象

弊社「タイムフィード時刻監査サービス」における、平成 18 年 1 月～平成 22 年 4 月発行の「監査証」および「監査レポート」の一部。

2. 事象内容

一部の「監査証」および「監査レポート」内の以下の項目に、誤った数値を記載いたしました。

- ・ 監査対象機器と時刻配信局の時刻差 (Time Offset) の平均値、標準偏差、最大値、最小値

なお、監査結果として保管してある元データには問題が無く、「監査証」および「監査レポート」に記載した監査結果自体には誤りがないことを確認しております。

3. 影響範囲

対象期間に発行した「監査証」および「監査レポート」の約 1%に上記事象が発生いたしました。

4. 原因

「監査証」および「監査レポート」の編集プログラムの不具合。

5. 対処

- ・ 誤ったプログラムを改修し、影響のあったお客様に対して、修正後の「監査証」および「監査レポート」を再発行いたしました
- ・ 再発行分については管理簿による管理を行っております
- ・ 「タイムビジネス信頼・安心認定制度」の認定審査機関である財団法人日本データ通信協会に本事象につき報告を行い、了承されました
- ・ 今後のプログラム開発においては、プログラムチェック体制の強化を行い、品質の向上および再発防止に努めていきます